

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆オプザーバー感想文◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

盈進中学高等学校 教諭 延 和聡

今回、尽力いただき、特に、裏方に徹して大会を成功に導いてくださったソロプチミストのすべてのみなさまに深謝です。

本校の箱田麻実さんはローズ福山様のご支援のもとに参加させていただきました。「とっても楽しかったです」と、笑顔満面に語っていました。

一期一会。そして、若者の特権。出会ったら即仲間で、認め合い、未来を語り、自分を見つめる。なんてすばらしい教育でしょうか。貴重な機会の提供に感謝です。

「どんな役割や立場にあっても希望と感謝を忘れないこと」。高橋睦子先生のお言葉です。箱田さん所属の盈進中高ヒューマンライツ部の部室には、「まず人」「何ごとも心を込めて」「感謝の心、地道に、謙虚に」「被災者の方々の希望となる」と書かれ、それと重なります。

「笑顔は“ありがとう”を伝える言葉と同じです。被爆者と被災地を忘れないための私の信念です」。箱田さんのスピーチの、私が大好きだった一節です。

今後ともご支援をお願いいたします。

山陽女学園 教諭 松田 育子

「この女子高生たちはなんて素晴らしいのだろう」と思わず声が出る大会です。一人一人のプレゼンテーションの内容、笑顔、声、すべてに引き込まれていきます。中国、四国地方それぞれ、もともと優秀な女子高生たちが切磋琢磨する二日間で大きくまた飛躍します。

周囲と競争したり、協力したり、また、考え、話し合い、持っている力を出し合い、お互い高めていく姿は感動さえ覚えます。そして、お互いを認め、自分にないところを素直に受け入れ、また自分を見つめ直し、成長していきます。個人としても、グループとしても成長できるとても内容の濃いプログラムに参加できるこの女子高生は幸せだと思います。

「この女子高生たちがいれば日本は大丈夫」と心底思います。また、ここに集う「自分のためにも、周囲のためにも生きていこう」と輝いている女子高生のような生徒たちを私たち教員も育てていかなければならないと身が引きしめる思いで会場を後にしました。

最後に、素晴らしい大会に参加させていただいて感謝いたしますとともに国際ソロプチミストアメリカ日本西日本リジョンのますますのご発展をお祈り申し上げます。

SI 道後 戸梶 直美

今回のユースフォーラムは、事前にパワーポイント、フェイスブックを使って取り組むことにより、「女子力アップ！～女性が夢を生きるために～」というテーマに対し、ユースが自分の意見を持って参加し、白熱したプレゼンテーションでスタートしました。

その後の討論会、夕食会、グループ研究、発表では、短いけれど集中した時間を共に過ごし、意見を出し合い、共感し合い、今後に繋がる友情を築けたことでしょう。又、現代社会の問題を捉え、解決方法、夢へ近づく方法を考えることができたのではないのでしょうか。その夢も、自分の為だけではなく、社会の為、未来を切り開く為のものが多く、とても頼もしく思われました。ユースの皆様の今後の御活躍を楽しみにしております。

今回、性別にとらわれない、誰もがそれぞれの資質が活かされる北欧の興味深い基調講演をして下さいました高橋睦子先生、お世話して頂きました方々に、心より感謝申し上げます。

SI イースト愛媛 篠原 由美子

テーマは“女子力アップ！～女性が夢を生きるために～”。参加ユース 41 名。初日のプレゼンテーションは、持ち時間きっかり 2 分。若く澁漣とした発表に、会場はたちまち熱気に包まれました。外交官としてフィンランドに 10 年間赴任中に、現地語で博士号も取得された吉備国際大学社会福祉学科教授 高橋睦子氏の基調講演は、「PISA：国際学習到達度調査」で塾や予備校も無いフィンランドが世界トップレベル、また国会議員の 4 割以上が女性議員である等、「女性の社会進出」が当たり前となり話題に上ることは少なくなったフィンランド・北欧の話で大変興味深いものでした。

我がイースト愛媛推薦の高橋市佳さんが、個人では審査員特別賞を受賞し、高橋さんの属するグリーングループがグループ賞にも輝きました。オブザーバー参加の会員はもとより推薦校教諭の喜びも一入でした。若い彼女たちがエンパワーし、夢に向かって突き進む勇姿を夢見ています。頑張れ!! 女子!!

SI 西条 井上 光江

甲子園地方大会も関の7月25日、藤井ガバナーの「球場では熱球が交わされています。ここでは熱い言葉を交わしましょう、心からの言葉を待っています」のご挨拶で2012-2014年期SIA日本西リジョンユースフォーラムが開会されました。

今回はITツールの活用という点が、これまでと大きく変わっておりました。パワーポイントの奨励、ネットでの資料配信等、最初に聞いたときはIT関係が苦手な私、内心とまどいを感じたのは確かです。学校また生徒さんにきちんと説明できるだろうか、という不安がまずあり、生徒さんに受け入れてもらえるだろうかという心配もありました。結論を申しますと、生徒さんに関しましては全くの杞憂でした。時代は変わっているとの実感を持ちました。

変わった部分もありますが、参加した全く見知らない生徒さん同士が、2日の間に驚くほどの友情を育てるという場面に接し、胸が熱くなるということは、何回参加しても変わりません。今年のテーマは「女子力アップ」でしたが、個性の違う若い女性がお互いを理解し尊重し絆を育てる、そのこと自体が女子力アップに繋がるのでは、との思いを深くした今年度ユースフォーラムでした。

SI 下関 重村 育子

二日間 私はオブザーバーとして出席しました。開会前は皆、緊張した面持ちでしたが、開会式後、始まったプレゼンテーションでは、さっきの緊張も何処へやら皆それぞれ個性を生かしたアピールをしていました。聞く方も少し肩の力を抜いて聞くことができ安堵しました。グループ討論も、今年のテーマ「女子力アップ」についてそれぞれの意見を出し合い、聞いている私達もなるほどどうなづく場面が沢山ありました。

楽しい夕食後の、グループ研究でも、ユース達は、より一層仲良くコミュニケーションがとれて、とても有意義なものであったと喜んでおりました。二日目のグループ発表でも私達は子どもたちのしっかりした考え方、討論に改めて現代っ子の素晴らしさを感じさせられました。

最後の表彰式でも、賞を貰った人だけでなく、皆で受けてというような喜びに浸っていたのが印象的でした。SI下関から推薦し参加したユースは、お陰様で「ガバナー賞」を頂きました。本人はお友達の色々な意見を聞かせてもらったこと。貴重な経験をさせて頂いたこと、「女子力アップ」の真髓を学ばせて頂いたことに感謝しておりました。